

すべては感謝から始まる

最近読んだ本です。「生かして頂いてありがとう御座います」に集約されたものです。

今までの信仰の盲点は、皆ですれば安心してしまいう事にあります。大丈夫、効果があると錯覚を起こしてしまうのです。「赤信号も皆で渡れば怖くない」は、信仰においても在るのです。特に、開祖がとつくの大昔に死んでしまっていて、現在の

時代に合わせた仕様を確認できない場合は、とんでもない変容を起こした信仰に変わっているのが世の常です。

もし、釈尊が日本仏教の巨大建造物を見れば、「これは何教ですか？」と聞くことでしょう。

もし、日蓮が現代の法華教団が伊勢神宮の参拝を禁じている事を知れば、怒ることでしょう。

日蓮自身が立教の前に、伊勢神宮外宮に対して100日間の特別参拝を実践し、日本を外來仏教から救い出して、神

様の国に戻す祈願をしていたのですから日蓮には、日本神国だと言う觀念が強く、救国の一念で生きていた事は、蒙古襲来の時の日蓮の行動にもよく現れています。

信仰が組織化される時点で、個人の尊厳は軽視されて行きます。個人の内在神よりも、教団維持

の為の神仏への信仰が強化されて行きます。

神様を安心させよう

でも、よく考えて下さい。死ぬ時は一人で死んで行く事を。本当の最後の最後に向き会おうのは、自分の心と向き会おう事を肝に銘じておかなければ生けません。自分自身の良心と向き会おうのです。

サービスの品質は、顧客から謙虚に学ぶ姿勢以外にあります。

喜んでいただけることは

何か、真剣に考へ、実行を積み上げて、学ぶ、どれだけ「心」を伝えられるかです。

そして、顧客の笑顔が最高の報酬になります。

この時代は、会社も自らも

要点は、「自分の心に神様を預かっている事。」これを意識するだけです。

預かった神様に対して、どんな気持ちを日々与えているのか？どんな日々の行動を見せているのか？

常日頃は心に預

自身と他人をも大切にする生き方に、必ず成ります。自分なりに、心と向き会って生きましょう。

生かして頂いて ありがとうございます 御座います

(伊勢 白山道) ブログより

代表者の感覚が求められるのです。

時代は従前の次元を超えています。これまでの延長線上ではありません。社会は急激に変化しています。

期待を超えるサービスの提供

目標を共有できない場合、クリア出来ません。

停滞は後退を意味します。

すなわち、各人に経営の

単なるサラリーマン感覚は通用しない時代なのです。

ティアン、クフウ、カイゼンが命です。

(有)西川経営オフィスサービス

中村会計

事務所便り

2009年10月16日 (金) NO67

地域から明るい未来を作ろう

西川経営のブログは「人」



予算編成は行政刷新



納税者憲章の制定を